

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
1	<p>人口減を予測し財政難を解決するためにとの理由で「公共施設再編方針（案）」を策定されようとしています。軒並み周辺部の施設の廃止、統廃合が上げられていることに驚きました。「概ね5年超～10年以内の実施を目標」の一覧に上げられたところを見て、「日置診療所は公園トイレと同等か?!」と、その方針の乱暴さに思わず声を荒げたほどです。</p> <p>世界の、日本の新型コロナの終息はまだ見通せていません。宮津市では幸い感染者は出ていません。今後とも出ないことを祈るばかりですが、出ない！とは言いきれません。ワクチンや治療薬ができて新型コロナが終息したとしても、新しいウイルスの脅威の出現もありうる事です。命を守るために“新しい生活様式”が盛んに言われています。これを本当に実践しようと思えば、“3密”を避けられる条件を備えた、この宮津の周辺地域の特性を生かし、住み続けられる地域づくり・・・医療や介護、買い物などの“足の確保”といった生活環境の整備こそ求められているのではないのでしょうか。そして、子どもたちが持続して学び育つことができる場として、現在の小学校の小規模・少人数学級の維持に努めるべきではないかと考えます。</p> <p>ですから、宮津市の子ども的人数減を理由にした保育所や小学校の統廃合計画などは即撤回していただきたいと思います。そして、どんな地域に暮らす住民も安心できるよう医療の充実こそめざすべきで、人口減・赤字経営を理由にした診療所の廃止などもってのほかではないかの思いを、このコロナ禍で強くしています。</p> <p>「インバウンド、外貨獲得で宮津を元気に」と盛んに言われてきました・・・今も、観光目的ならば空き家の活用への補助を行うとしています。しかし、このコロナ禍で実のところどうなのかが問われています。今こそ、どんな宮津をつくっていくべきか、しっかり議論すべき時ではないでしょうか。</p> <p>次ページへ続く</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
1	<p>○拙速かつ乱暴なやり方で「公共施設再編方針（案）」を策定しないでください。</p> <p>コロナの関係で、市民説明会の日程やパブリックコメントの募集期限が延期されており、当初の「6月に市長決定」も延期せざるをえなくなっていると思います。この際に、一旦立ち止まって“新しい生活様式”の視点をもって「公共施設再編方針（案）」の再検討を求めます。これこそが、宮津の魅力を増し、定住促進、Uターン Uターンを促す策ではないでしょうか。そこで次のことをお願いします。</p> <p>* 拙速な決定は止めて、“新しい生活様式”の視点をもって「公共施設再編方針（案）」の再検討を行うため、市民の声を十分聞いてください。</p> <p>* 市民説明会の会場を増やしてください。</p> <p>市民説明会は3会場となっていますが、例えば府中以北は府中公民館1箇所のみです。</p> <p>会場を増やし、必要によっては市の方から集落に赴いて丁寧な説明と意見集約をしてください。「人口減で村がなくなる・・・」不安を抱きながらも、一生懸命村を守っている方々に敬意を払うべきではないでしょうか。</p> <p>* 公共施設再編方針検討会議の市民委員を増やしてください。</p> <p>現在市民委員は1名となっていますが、地域の実情や住民の願いを一番つかんでいるのは、有識者ではなく市民ではないでしょうか。「人口減を予測し財政難を解決するため」として膨大な資料が出され“結論有き”の検討会議ではなく、どうすれば安心して暮らし続けられる宮津市となるか、真剣に検討していただける検討会議を希望しています。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
2	<p> 今回のコロナ危機から学ぶべき点は少なくない。さいわい宮津からは感染者が出てはいないが地域社会の在り様を考える上では重要な教訓となった点では変わりはない。医療、介護、福祉施設、学校等々、余裕やゆとりのある日常がいかにか大事であるかを痛感する。例えば北部医療圏でPCR検査は受けられるのか、与謝野町の或る高齢者が「宮津に行けば保健所があるから相談できるだろうと思って来てみたらなくなっていた。」と言っていたのに出くわしたが、まさに「選択と集中」の名による「行政改革」、換言すれば「削減行政」、「ぎりぎり行政」の結果の出来事である。 </p> <p> (案)に「国の研究会では…『フルセット行政』からの脱却が必要とされている」と記されているが、なぜ、何のために必要なのか記されていない。「国が言っているのだから…」では説明にならない。まるで「フルセット=悪」であるかのようではないか。むしろゆとりのある地域社会、住民福祉の向上の観点からすればフルセットは逆に好ましいもの、というより目指すべきものである。実情が許さないからといって「フルセットからの脱却」を必要などとスリカエで目的化してはならない。 </p> <p> 「ポストコロナ」の「新しい生活様式」とは何なのか、そのためには「新しい行政」のあり方も求められているのではないか。 </p> <p> 人口減少に関して市は何かと国立社会保障・人口問題研究所の推計をもち出してくるが、この推計はあくまで「目安」にすぎず諸政策や再編問題の論拠となるものではない。むしろ重要なのは市が独自に策定した「人口ビジョン」にもとづいて将来設計をなすべきである。一面的に研究所推計に拠るのでは人口ビジョンを本気で達成する気があるのかが問われることになる。 </p> <p> <施設を削減するのではなく人口回復を進めるべき> </p> <p> 市民一人当たりの公共施設床面積が全国平均の2.2倍もあると問題視するが、分母である人口の減少をくい止める政策的努力よりも分子となる公共施設を削減することによって比率改善を算術的に図ろうとするのはもはや政策ではない。また地理的その他の諸条件は各自治体によってそれぞれ異なるのであるから、ファクターの違いを無視した単純計算を指標にして他市町や全国平均と比較するのは無意味である。どのような町づくりを推進し人口回復を目指すのかという視点こそ揺るぎないものにしなければならない。 </p> <p> 次ページに続く </p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
2	<p>上宮津(Ph1)、日置(Ph2)、養老(Ph2)など保育所について</p> <p>宮津市の将来を展望するとき子育て支援施設は地域存続の点からもその地域からなくしてはならない最重要の施設である。これまでに廃止した地域はどうなったか、少しでもよくなったのか、過疎化を加速させただけではないのか。そもそも保育所もない所に若い夫婦が定住するのか、移住者を期待できるのか。子どもが家での生活から初めて自分が生まれ、育つ地域に生活の範囲をひろげ生まれ故郷への愛着を育てる、この営みこそが過疎対策となるものである。只今現在の利用率で存廃を決めてはならない。コロナ対策の分散登校によって少人数学級を経験した教師は「勉強だけで1人ひとりの生徒の心のありよう、状態がよくわかる。眼からウロコの落ちた思いだ」と述べている。保育も同じである。子どもの成長と地域の希望を荷う保育所は歯をくいしばってでも存続すべきである。統廃合によって宮津市と地域の将来を自ら閉ざしてはならない。</p> <p>日置診療所</p> <p>施設の老朽化を理由に地域住民の健康を切り捨ててよいのか。保育所も無い、診療所も無い、そんな日置にしているのか。いつ発熱したり病気になるかわからない子どもにとっても、どこかしらの身体の不具合をかかえている高齢者にとっても診療所の存在はまさに安心の砦である。コロナ危機に際しても「かかりつけ医」がPCR検査の入口であった。診療所が無くなればその「かかりつけ医」も探さなければならない遠い存在ということにならないか。</p> <p>次ページに続く</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
2	<p>島崎エリアと「民間活用」</p> <p>市役所本館・新館・別館の更新についてPPP/PFIの導入を検討するとしている。PFIについて「低廉かつ良質な公共サービスの提供を目的とする公共事業の一手法」とあるが額面通りに受け取ることはできない。財政難でも立派な建物を建てられるかのようなうまい話はありません。実際は民間事業者が公共施設の企画から設計・仕様・建設などを包括的に委せるものである。また大規模改修や更新は複合化を基本とするところがあるが庁舎と営利を目的とする民間施設をどのように複合化させるのか。</p> <p>また(案)では島崎エリアの民間活用による活性化計画を謳い、そのための「サウンディング調査」を行うとしている。この調査は誰が行うのか、市にそれだけの能力があるとは思えない。その調査費は誰が負担するのか、事実上事業に参入する民間事業者やコンサルタント業者が主導する調査、企画となり市とのやり取りは単なる「すり合わせ」になるのではないかと懸念される。調査とは名ばかりの「売り渡し」計画に墮つのがオチだろう。又、この調査でこそPPP/PFIの「導入可能調査」ではないのか。「導入が好ましい」という結論ありきになる危険は多いとしなければならぬ。又、2013年の法改正で「PPP/PFIの抜本改革に重点的に取り組む各省庁及び地方公共団体に対する適切な評価を踏まえ各種補助金、交付金の重点化」が決められPPP/PFI推進のインセンティブが設けられた。市の言う「有利な財源」の一部となるものではないのか。</p> <p>まさに庁舎から島崎一帯を民間事業者の利益に供する計画であり、大々的な市民的議論が欠かせない。とても3地域各1回の市民説明会で済まされる問題ではない。</p> <p>今回の再編計画(案)で強く感じるのは周辺地域の切り捨てである。住民が減少しているのに公共施設を維持したり建て替えても無駄になるだけ」という切り捨ての論理を「選択と集中」とか「過大な床面積」とか「利用率の低下」などで糊塗し、「フルセット行政からの脱却」を正当化しようとしている。「選択」＝切り捨てである。その一方で「集中」＝大規模な民間への売り渡しではあまりに惨めな計画だ。</p> <p>宮津市の将来への展望を示せない、ひたすら人口減少の激流に身を任せ、やがて溺れるのを待つのみである。</p> <p>移住者、定住者は宮津の何に魅かれ、何を期待するのか、また実際にどこに移住してきているのか、その数が今のところ少なくとも人口減少に歯止めをかけ、増加への流れに転換する道は他にはない。コンパクトシティなどという横文字よりも「住みたい田舎」づくりの大展望を語り合うべきである。</p> <p>地域を切り捨て市街地が生き残ってもそれを持続可能な社会とはいえない。真のSDGsの達成と実現のために！</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
3	<p>越浜海岸公衆便所</p> <p>【設置経過】</p> <p>(1)越浜海岸には、公共のトイレがなく、海水浴、釣り、バーベキューやキャンプに訪れた多くの観光客が周辺の農作業小屋、畑、草むらなどいたる所に用を足し、島陰地区民は対応に苦慮していた。</p> <p>(2)宮津市内よりバス等で海岸清掃ボランティアにいられた方々が利用できるトイレがなく大変困っていた。</p> <p>(3)学校団体等の遠足、ツーデーマーチ等の宮津市関連行事において利用できるトイレがなく、地区内の民家のトイレを無償で貸していた。</p> <p>(4)上記の状況から平成3年(1991年)12月12日に当時の徳田敏夫宮津市長様宛に越浜公衆便所設置について要望書を提出し、翌年設置の運びとなった。</p> <p>(5)宮津市と島陰自治会との間で清掃管理について覚書を取り交わし、自治会が清掃管理を行い、施設維持経費、汲取り料、水道料及び電気料を宮津市が負担することとなった。</p> <p>【現在の状況】</p> <p>(1)公衆便所を設置当初は通年開放していたが、地区民の高齢化等により、通年の清掃管理が困難になったことから、夏季のみ開放し、越浜海岸周辺の駐車場等経営者が清掃することとし、現在に至っている。</p> <p>(2)近年のアウトドア志向から、バーベキューやキャンプをするために訪れる観光客が増え、公衆便所に設置された手洗い水道施設を調理や用具の洗浄等に使用され、たびたび破損された。宮津市の予算がない状況も鑑み、簡易な修理の対応については、できるだけ地区民で行っている。</p> <p>(3)公衆便所周辺の草刈り、海岸のごみ拾い等の清掃活動は、毎年自治会が実施している。</p> <p>【新型コロナウイルス感染拡大の影響】</p> <p>(1)新型コロナウイルスの感染拡大による「緊急事態宣言」の発令を受け、越浜海岸周辺の駐車場は自粛閉鎖した。緊急事態宣言解除となった現在も、再度の新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から、自粛閉鎖を継続しており、今シーズンの夏季の公衆便所の開放及び駐車場経営についても不透明である。</p> <p>(2)緊急事態宣言解除となった初めての週末(5/23・5/24)は、他府県ナンバーを含む多くの車両が海岸周辺道路の両側に違法駐車し、海岸も大変混雑していた。(駐車場が閉鎖しているため、警察による駐車禁止のパトロールも消極的であった。)</p> <p>次ページへ続く</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
3	<p>(3)公衆便所については、夏季以外は閉鎖しているため、農作業小屋や畑、草むらで用を足す観光客が多く、農作業をする地区民や地主から、自治会に苦情が寄せられた。</p> <p>(4)多くの車両が駐車していた路肩には、空き缶やペットボトル、食べ残した食材等のごみが散乱し、不衛生な状態となった。特にウイルス付着の不安から、安易に清掃できない状況である。</p> <p>【市の方針を受け入れる場合の今後の懸念事項】</p> <p>(1)5年以内の公衆便所の用途廃止、除却となった場合、地区内の衛生状態の悪化が懸念される。</p> <p>(2)自治会が公衆便所の無償譲渡を受けた場合、地区民が利用せず、観光客のみが利用する公衆便所に対し、自治会費から維持管理費を支出することに同意が得られないことが懸念される。</p> <p>(3)駐車場等経営者が自費で公衆便所の維持管理を行うことも考えられるが、経営者の高齢化が進んでいる現状から、これを機に経営を辞めることが懸念される。</p> <p>【宮津市及び関係機関に対するお願い】</p> <p>(1)方針を公開することで一方的に進めるのではなく、上記の事項を踏まえ、自治会と協議のうえ、進めていただきたい。</p> <p>(2)公共施設という枠組みの整理で公衆便所を廃止するだけでなく、地区民の安心安全な生活を維持するため、現状をしっかりと把握していただき、効果的な対策を講じていただきたい。</p> <p>(3)公衆便所が必要ないと判断するのであれば、海岸や砂浜での海水浴やキャンプ、バーベキュー等を禁止し、違法駐車取締まりを強化していただきたい。</p> <p>(4)公共施設の再編という枠組みの中の方針だけではなく、宮津市の観光資源を高齢化の進んだ自治会任せにしている現状の見直しも同時に進めていただきたい。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
4	<p>〈宮津地区〉亀ヶ丘児童遊園について</p> <p>1、小規模の公園ではあるが、平日の放課後、学童保育に通っていない子供たちの大切な遊び場になっており10名程で遊んでいる姿をよく見かける。また休日にも子供たちが集団でよく遊んでいる。</p> <p>2、宮津祭りや和火の会場となっており地域で重要な役割を担っている</p> <p>以上のことから現状のまま維持を望みます。</p> <p>児童公園は子供の体力向上や自転車事故の防止のため、自宅から徒歩で行ける距離にあることが望ましいです。また、自宅前の道路で遊ぶのを防ぐ等、安全上の役割もあります。</p> <p>小さな公園は地元の大人の目も届きやすいです。</p> <p>近隣では島崎公園や桜山公園の遊具は撤去され、ホテル建設地横の公園も古いからと無くなりました。</p> <p>その度に子供たちが悲しそうにしています。</p> <p>他の公園はわかりませんが、利用状況を確認の上方針を決めてほしいです。</p>
5	<p><再編方針書（案）の白紙撤回と再意見募集></p> <p>新型コロナ感染パンデミックを機会に、政治の在り方、公共施設の在り方（特に、医療、保健、福祉）が大きく見直されています。これまでの、グローバル化傾向や経済性や効率化への追求に対しての批判や方向転換が求められるようになってきています。</p> <p>人の命を優先する政治や公共施設の在り方へ変換していかなければならないことが明らかになっているこの時期に、従来通りの効率性や一人当たりの公共建築物床面積の数値などによる機械的な、公共施設再編方針で政策を進めていってはならないと思います。いったん、白紙に戻し、コロナによって気づかされた事柄や教訓をくみこんだ再編方針を出していただき、再度、市民の意見集約をお願いしたく思います。</p> <p>次ページに続く</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
5	<p><日置診療所の存続></p> <p>まず、日置診療所の廃止方針についてです。コロナを機に、日本の医療が、すぐに医療崩壊が起こりかねない弱体化した状況があることが判明しました。それは、満床になることを前提に病院の運営をせざるを得ない状況に病院が追い込まれている政治の在り方に原因があり、病院の数をどんどん減らしてきた結果です。すぐに、医療崩壊がおこるという状況を見ることで、国民は不安にさらされています。そんな中、多くの公立の病院がコロナ患者を受け入れ、果たした役割は大きいものがありました。効率ばかりに目を向けるのではなく、僻地の医療をになう日置診療所は存続させるべきです。</p> <p><保育所廃止の見直し></p> <p>次に、教育では、コロナを機に、密をさけるべく、少人数学級の実現が模索されようとしています。保育所も同様、なるべくなら大規模で密になる機会が多くなるより、小規模での保育がもっと尊重されるべきです。コロナだけでなく、障害のある子どもにも、周辺地域の子どもにも、小規模であったり、地域の拠点であったりする保育所の果たす役割は大きいです。保育地域割りの再編や、定員の見直し、より預けやすい保育体制などを工夫して、宮津市全体として、子どもたちにとって、より豊かな保育が取り組めるよう考えていくことが大切だと思います。周辺地域の保育所を切っていくという安易なやり方は、市民や子どものことを考えた施策ではないと思います。</p> <p><市民が納得できる財政健全化></p> <p>いつも財源不足、厳しい財政と言われるのですが、それをすぐに公共施設再編に結びつけるのではなく、市民にとって何が必要なのか？そして、市の重点課題と矛盾する施設再編になっていないのかといった点検が必要です。例えば、昨年実施の島崎公園の大規模改修は、市民にとって不急不要ではないのか？市政全体から見た、市民が納得できる財政健全化に向けた取り組みにして頂きたい。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
6	<p>今回、人口減少、施設の老朽化、財政難と将来負担の軽減、持続可能な街づくりを視野に施設の再編方針を作成されました。今日までの市政にも大きな問題があったと思う。今市民にその付けを回されても困る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口減少については天の橋立観光依存の施策に徹し、すべてのイベントが海、観光中心に行われたこと。行政が海の観光促進に重点を置きすぎた。人口減少を見据えた周辺地域の見直し 空き家、移住関連がおろそかであったこと。 2. 施設の老朽化については長期的な計画がなく、目先にとらわれて、必要な施設整備が遅れたこと。 3. 歳出に対する計画が甘かった。優先順位などの見通しが弱かった。 4. 事務の簡素化を含むスピード感のある動きが出来ていない。職員と住民の隔たりが大きすぎる。もっと寄り添い垣根を超えた、つながりが欲しい。 <p>1) 利用の少ない施設 老朽施設について</p> <p>無くても良い施設と、利用が少ないが、今後を見据えて必要な施設の見極めが必要だと思う。たとえば、私たちの地域の上宮津保育所、上宮津レストハウスなどは、現在地域が行っている地域振興計画には必要かつ欠かせない施設です。現在移住・定住促進（平成28年から現在までの移住者は13所帯38名 内子供16名）地域の産業おこし、杉山大江山の有効利活用などを促進しております。</p> <p>昨年は杉山ミュージアムの竣工、全国ロングトレイルコースに指定され、地域が一体となり懸命な努力をしています。稼働中の施設を無くす が前提でなく、どうした継続できるのかの議論が必要であると考えます。</p> <p>これらの施設は活動の拠点、支援となる一番大切な施設となります。宮津の施政方針にも沿った前向きな、活動を実施しています。今子供が少ない、利用者が少ないからでなく、この地域に本当に必要な施設であることを認識いただきたい。単なる財政難による処分を含む、放棄施設にしてほしくない。他の地域でも同じような施設もあるはずで、地域目線に沿った再編が必要だと思います。</p> <p>こういった思いやり行政が市民のやる気を起こし、寄り添った活力を生み地域自治につながると考えます。地域の活動指針に必要な施設は保全すべきであるこれも行政の大きな役割だと考えます。</p> <p>次ページに続く</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
6	<p>2) 再編公共施設の再利用などで意欲のある地域への支援強化が必要である。行政は地域振興に意欲があり活動している地域にたいしての意識が薄く感じる。</p> <p>例えば地域自治を目指し設立された地域会議であるがその補助金の使途がこの趣旨に沿っているのか？単なる今までの自治会活動等の事業に使われているようにも感じる。限りある財政の有効活用が必要である。地域自治に対して意欲のある地域に積極的な支援をすることにより他の地域も追従する結果につながると思う。</p> <p>3) コロナ感染によるライフスタイルの変更が求められ、在宅勤務などが大きく見直され定着する兆しも出てきた。地域としても市政スタイル変更の大きな転機ともとらえ、海を中心の一日観光から、恵まれた旅行だけでなく、再編公共施設の活用や空き家、民泊、お試し住宅の様な宿泊所を活用し短期宿泊で宮津の海、山、自然、歴史などのすばらしさを、仕事をしながら体験してもらうなど思い切った施策の一つとして考えるべきだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在宅勤務と田舎暮らし ○在宅勤務と農業体験 ○在宅勤務と観光 ○在宅勤務と学び <p>など地域には大きな宝が埋もれたままで、今こそ積極動きが求められる。地域の当たり前の生活を伝え、そのまんまの宮津を知っていただき、体験してもらうことが、結果一番のPRにつながるのではないかと。資金力もなく施設もない私たちに今求められる事は、こんなことではないのか、背伸びすることなく、ありのままを伝えていくことも大切ではないか？</p>
7	<p>宮津会館存続についてメールします。</p> <p>市の財政難より維持、改修工事が困難なのは理解できるが町のコミュニティの場が失われる損失の方が大きいのではないかと思われます。将来を担う子供達に残せるように維持継続を望む。会館が無くなると町に魅力が失われ人口流失に歯止めがかからず、町に愛着もなくなり一度町を離れたら戻ってくることもないでしょう。苦渋の判断は理解できます。存続することで財政が立ち直るのかもわかりません。今失えば再建はないでしょう。しかし以上を踏まえ存続を希望します。宮津市のシンボリックな存在である宮津会館を、是非残してください。</p> <p>子供たちの晴れの舞台である音フェスやピアノ発表会、ここ数年は中学校の文化祭など、多くの文化的な発表の場であるホールには、たくさんの思い出があります。</p> <p>再来年には中学校3年になる子供の、音フェスでの合唱を楽しみにしているので、是非宮津会館で実現できるよう、よろしくお願いします。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
8	<p>安寿の里もみじ公園の便所の廃止案に関して</p> <p>廃止の理由が、「現在休止中であり、便所機能としては廃止する」ある日突然便所に板が張り付けられ、何の説明もなく現在休止中では到底納得できることではありません。年間41万経費が掛かるから廃止だとは市長より聞いていますが。コロナ禍の中、地区民や観光客に向け、毎週、土、日、祝と花火を打ち上げるとか、日置の公民館として廃校の校舎改造で8860万など、しっかり支出を組んでみえます。由良浜野路は公民館建設の為に毎月区民は積立をして頑張っています。</p> <p>公衆便所は、使用状況（使用量）を踏まえとあり、もみじ公園は使用量が少ないと捉えているようですが、以前は大型観光バスが立ち寄り、常時車が2～3台（多いときは5～6台）駐車していて、かなりの利用者がありました。清掃員も首になり、おかげで野糞、立小便、ビン、缶、弁当の空き箱等のゴミ捨て場、草も伸び放題と化しました。この現状を今後どうしていかれるのでしょうか？</p> <p>全ての便所19施設のうち4ヶ所のみ現状維持ということなので、宮村駅前広場公衆便所、八幡児童遊園、府中一の宮の船着場公衆便所、府中ふれあい広場、この4ヶ所を実地検証してきました。コロナ禍の土曜の昼下がり、使用頻度が特別多いとは私には全く感じられませんでした。感じられたのは府中2ヶ所、城崎市長の出身地だからでしょうか？確かに宮村駅前、観光客乗降の船着場、少子化の折児童公園の利用環境整備等考えますと、この4ヶ所が必要ないとは言いません。しかし安寿の里もみじ公園の便所がこれだけ利用者が多かったにも関わらず廃止とは、どうしても納得できません。7月18日の説明会では近くにローソンがあるからと言われましたが、府中の船着場にはもっと近くすぐそばにコンビニがあります。</p> <p>何故か遠く離れた由良は完全に見捨てられた感じがします。由良の財産である由良小学校跡石垣の由良石も、もっと事前に撤去後の石の利用、保管について、自治会、住民が検討する期間が必要でした。</p> <p>もみじ公園は宮津市の東玄関口であり、又道の駅的な存在（現在はまだまだですが）でもあります。そんな場所にトイレが無いなんておかしいと思いませんか？女性が車から降りて女子便所、男子便所と右往左往している姿、大型トラックの運転手は堂々と立小便、大型観光バスが止まっても…。</p> <p>森鷗外の小説にも出てくる、安寿と厨子王の像、素晴らしい鉄橋、由良川の展望、近くには上石浦、下石浦のみかん農園。もみじ公園の後ろ、左横、右斜め前には育ちつつあるオリーブ園（オリーブの木200本）。地域活性化に向け自助努力を地域の中でもしているわけですが、それに対して水を差されたような思いで、安寿足湯、北前船資料館も含め由良のよいところは頭から潰されていくような気がします。たかが公衆便所のこととはいえ、地域の活性化につながり、訪れてくださる人々に、休息の場として気持ちよく過ごしていただくために、何とかこの安寿の里もみじ公園の便所の存続をお願い申し上げます。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
9	宮津会館の存続をお願いします
10	宮津会館のような所が無くなれば、市とは言えないと思う。 存続は、必要不可欠！
11	会館がなくなると、コンサートなどが、近くに聞きに行けなくなるので、困る…
12	<p>私は、今年3月まで十数年にわたり宮津マーチングバンドを指導してきました。</p> <p>マーチングバンドは毎週土曜に市民体育館で練習を行い、市内の各種イベントにも参加しております。また、年一回の秋の吹奏楽フェスティバルには、中高生に交じり宮津会館で演奏をしてきました。年に1回とはいえ大きなステージで演奏することは、子どもたちにとっても良い経験であり、練習の励みともなっていました。</p> <p>また、私はウインドオーケストラ与謝にも所属しております。ウインドオーケストラ与謝は加悦高、宮高のOBが中心になり発展してきました。ウインドは30年前から宮津会館で年1回の演奏会を開いてきており、この演奏会が活動の中心となっています。与謝野町を含め会場の広さの面でも、音響の面でも、宮津会館に代わる施設は近辺にはありません。</p> <p>宮津会館が使用できなくなると、ウインドの今までの活動は大きく変更せざるを得ません。財政的な厳しさは、十分承知の上ですが、1年でも長く宮津会館を存続していただけるようお願いいたします。</p>
13	<p>宮津会館を一年でも長く存続してほしいです。</p> <p>学生の発表の場もなくなるといことも今思うと悲しいです。</p> <p>是非ご検討よろしくをお願いします。</p>
14	<p>宮津会館は残して下さい。</p> <p>観光宮津のためのトイレは残して下さい。</p>
15	発表する場がなくなるのはとても寂しいので1年でも多く存続してほしいです。

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
16	<p>日置区民の健康と命を守る医療機関として重要な役割を果たす日置診療所の存続は区民の切実な願いです</p> <p>宮津市から財政難や老朽化等を理由とした公共施設再編計画の一環として診療所の廃止が公表され、多くの地元区民から疑問や不安、存続を願う痛切な声が上がっています。</p> <p>宮津市は人口減や施設の老朽化、厳しい財政状況等、様々な諸課題を抱えてはいますが、公共施設の再編は、地域の実情や施設の性質、機能、まちの将来像等、様々な観点からのその必要性を検討していくべきと考えます。</p> <p>当市が再編計画の中で掲げる公共施設の最適配置及び持続可能なまちづくりとは、そうした丁寧で慎重な検討を市民とともに重ねていくことではないでしょうか。</p> <p>現在も日置診療所には多くの区民が通院し治療を受けており、区民にとっては必要不可欠な施設であることは言うまでもありません。とりわけ当地域のような過疎地の医療事情を鑑みれば診療所などの医療機関を廃止することは地域の衰退を招きかねません。将来、子どもや若者が安心して住める地域づくりを進めていく上でも、こうした施設は絶対に存続させるべきと考えます。コロナ禍で全国各地の医療体制の脆弱さが医療危機を引き起こした教訓からも、医療体制のいっそうの整備・充実がこそ求められているのではないのでしょうか。</p> <p>どうか公共施設再編案を再検討し、日置区民の命を健康を守り暮らしを支える診療所を存続させていただきますようお願いいたします。</p>
17	<p>宮津会館はコンサート等の鑑賞には音響設備や席数含めなくてはなりません。</p> <p>また、宮津で様々なイベントを誘致する際にも屋内ホールは必要不可欠だと思います。</p> <p>したがって宮津会館を存続させるべきと強く思いますのでよろしくようお願いいたします。</p>
18	<p>宮津市の公共施設の再編方針について、</p> <p>宮津会館を京都府の持ち物として、存続を考えては、どうか。また利潤を生み出す、民間会社などなど利用しやすい方向を提案します。</p> <p>より多くの団体や会社等が、借りやすいように価値をあげたいことが、必要と思われます。</p> <p>他公衆便所など設置は、宮津を訪れる観光客にとって、大事なのは部分、好き勝手に用を足されても地域に迷惑もかかります。</p> <p>ご検討宜しくようお願いいたします。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
19	宮津会館、一年でも長く存続お願いします。文化的なものに触れる場所が無くなるのはさみしいです。
20	<p>財政が厳しいからと色んな施設を閉めてしまうのは反対です。</p> <p>公設市場も無くなって、、、</p> <p>宮津会館はなんとしても残して欲しいと、納税者の1人として思います。</p>
21	<p>この度の話をお聞かせいただきました。</p> <p>私は宮津高校卒で吹奏楽部に所属しておりました。</p> <p>宮津会館の維持が出来ない可能性があるということなのですが、どうにか残して使えるようにしていただきたいと願っております。</p> <p>会館の大ホールが無く、歴史の館・文化ホールしか無い状況となれば市の文化レベルの低下は免れないのではないのでしょうか。</p> <p>丹後全域を一つと見て京丹後文化会館があれば良いというのであれば、交通機関の利便性を高めないと非常に不便です。</p> <p>そもそも宮津会館は宮津市民の利用だけでなく、外部から音楽や演劇のトッププロを呼べる施設なので安易に処分するのはいかがなものか…</p> <p>「住みやすい町」を目指すならば文化レベルの向上は必須だと思いますし、人口減少を止めるためにも一考されてみてはいかがでしょうか。</p> <p>高齢化社会の中、高齢者施設で働く若者を増やすことにも繋がると思います。</p> <p>他にも保育所などの話がありましたが、何よりも先に市役所を修繕もしくは建て替える方が先ではないのでしょうか？</p> <p>全体的に耐震補強や老朽化については今に始まったことではなく、失礼ながら前市長・前々市長の怠慢からここまで引きずっているのではないかと思います。</p> <p>今の市の皆様は仕事の負担が多くものすごく多忙だと思いますが、どうかじっくりと検討していただきたいです。</p>
22	宮津会館の継続をお願いいたします。

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
23	<p>1. 再編計画の周知そのものについて</p> <p>そもそも本再編案が、全くと言っていいほど市民に周知されているとは思えない。手順を踏めば良いというものではない。実際効果は出ていないと思う。もっと市民全体が良く理解し、考える期間が必要だと思います。広報してから数か月も経たないうちに結論付けようとするのは役所本位に感じます。市民の声が少ないのではなく、周知が甘く、また声を上げる余裕すらない行程だと思う。</p> <p>2. 宮津会館の閉鎖について</p> <p>宮津会館は半世紀に渡り芸術・文化そして様々な地域活動の拠り所として維持されてきました。市の象徴的な建物でもあります。この施設の閉館は、人口増加・企業誘致にも大きな影を落とすと思います。このような再編を行う市に住みたいと思う人が出るでしょうか？また市に魅力を感じる企業はいっそう乏しくなると思う。文化芸術は長い目で見て経済を生み出し、市に活性化をもたらすもので、決して金食い虫ではないと思います。宮津の将来像というより、目先のお金を問題にするほど厳しい財政であることは承知しているつもりですが、維持費の大半を占める人件費や、他にも無駄なハコ物作りにも問題があるのでは？</p> <p>耐震補強に10億円の概算が示されていますが、その概算の根拠もよく分からない。遺すことを念頭におけば、まずは設計・積算を精査して行うもの。説明資料に欲しい。</p> <p>概算金額の増減によっては、他を含めた再編計画全体に影響を及ぼします。</p> <p>閉鎖ありきで話が進んで来ている印象です。まずは一旦、来年3月の閉鎖を保留とし、より市民の声（考え・意見）を求めるべきです。</p> <p>3. 公園のトイレについて</p> <p>利用者の多い少ないの問題だけで決めないでほしい。地域社会にとって必要なものは残すべき。今あるものを無くしても財政的効果としては乏しい気がします。</p> <p>念のため申しておきたいのは、滝上公園のトイレは、宮津祭りに欠かせないトイレです。</p> <p>ここを無くすのは西地区全体が怒るだけでなく、数少ない市内観光的な場所なので、市にとってダメージの方が大きいと思います</p> <p><市職員の手当></p> <p>とにかく高いとしか言いようがない。これは大きな歳出問題ではないでしょうか？</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
24	<p>1.日置保育所について 日置小区域(日置、世屋地区)は、若手移住者を呼び込むことなどで、子どもの数が増えている市内では稀有な地区であり、近年の若手の移住状況を見ると今後も増えることが見込まれる。 子育て世代の若手移住者にとって、地域での保育・教育環境は重大な関心事であり、保育所や小学校の統廃合計画があること自体が新たな定住の妨げとなる。 以上の観点から、日置保育所の廃止が移住促進を掲げる宮津市にとって全体最適なのか疑問であり、現状維持が望ましいと考える。</p> <p>2.世屋体験教室実習棟 有償貸与しているものを無償譲渡することが市民にとって有益か疑問であり、今回の施設再編の趣旨と反するのではないか。無償譲渡の提案に、どういう経緯があるのか教えてほしい。 年に数回、立命館大の学生が雪囲いや屋根補修に来る程度で、活用はされていない施設であり、地元との交流もない。地元からは食品加工施設として使いたいという要望が数年前からあり、市にも伝えているはずである。 もし、無償譲渡するなら、雇用創出や移住促進の観点からも、貸与を希望している地元の加工グループ「はなうた」が望ましい。</p> <p><財政破綻の経緯と再発防止の説明> 市の財政危機問題は、施設再編の理由のひとつであると資料にあるが、未だ破綻の詳細と再発防止が示されていない。施設再編など痛みを伴う施策を実行するには、その説明を受けた上での市民理解が不可欠であると思う。何度も破綻を繰り返し、その度に大鉦を振るような大雑把な市民サービスの縮小は、移住者を呼び込み存続を模索する集落にとっては死活問題である。人口減少に伴うサービス縮小自体は理解でき、市民として可能な部分は受け入れる必要があると思うが、持続可能できめ細やかな縮小方法であって欲しい。 遠回りなようであるが、施設再編のスムーズな遂行には、破綻経緯の真摯な説明と再発防止策の提示は不可欠。その上で、丁寧な規模縮小が財政負担の軽減に寄与する良いスパイラルにつなげてもらいたい。</p> <p><公共建築物延べ床面積> 他市町と比較して、市の公共建築物延べ床面積が大きいと資料にあったが、その原因はこれまで整理していなかったことだけなのか？宮津市特有の事情があるのか？</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
25	<p>公共施設の再編は、これからの少子高齢化など社会的要因を考えると市として取り組まなければならない重要な課題であると思います。これに取り組むうえで、考えなければならない重要なことは、「選択と集中」をアピールされていますが、「部分最適」でなく「将来最適」、「全体最適」となるように50年後、100年後の宮津市の将来を見据えた方針としていただきたいと思います。</p> <p>この重要な方針策定にあたって市民から意見を求められることに関し一言意見を申し上げます。</p> <p>9月に方針決定という短いスケジュールの中で、パブリックコメント（パブコメ）の締め切りが7月28日とされ、その説明会が17日、18日で、締め切りまで10日間しかないというのは短く思います（長ければ良いというものでもないとは思いますが）。</p> <p>パブコメの締め切り日以降に個別の説明会が開催される場所もあるとのこと。パブコメは、それらの説明会の終了を踏まえて締め切りとされても良かったのではないのでしょうか。説明を聞かないと見えない部分があります。</p> <p>また、市民検討委員会の委員募集について、その募集案内の説明で委員会の開催は1回と書かれていました。1回開催でどこまでの議論ができますでしょうか。（「1回の委員会開催では意味がない」と、応募されなかった方もおられると聞いています。）このことに関しては、7月17日の歴史の館での説明会でも質問がなされ、副市長が「場合によっては2回、3回の開催もあり得る」と回答されました。そうであるなら、応募の説明にそれを書いておくべきではなかったのでしょうか。</p> <p>7月17日の説明会もしかり。開会で8時30分終了予定との説明。市からの説明が40分程。説明後の残された時間でどれだけの質問が出来るのでしょうか。こんな重要な問題をそんな短時間で市民の意見を十分に聞けるのでしょうか。出席された市民は、関心をもって自主的に来られた方が多いと思います。こんな重要な案件の会議をそんな早く終わって欲しいと思っている方は少ないと思います。</p> <p>残念ながら市民からしっかり意見を聞こうという意思が希薄に感じられます。</p> <p>ただ、救われたのは、副市長が発言された「今回定めるのはあくまで方針で、個別具体施設の対応実施は、今後市民の合意を得て決定していく。」と言われたこと。</p> <p>いずれにしても、9月には方針決定をされるのだと思いますが、今後の個別具体施設の対応については、フェーズ期間の中で市民との議論をしっかり行っていただき検討していただきたいと思います。</p> <p>次ページに続く</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
25	<p>市民の側にも大きな責任が求められます。今までの当り前に受けてきたサービスだからなど単なる感情論で市の身の丈に合わない施設を残して欲しいということにはなりません。地域及び宮津市の将来を考えるとしっかりと自分事として市の施策に向き合っていくことが求められます。</p> <p>市民が行政任せにしていることが多々あります。市の施策としっかりと向き合うという土壌形成が確立されていない中で難しいことではあります。市民と議論していく機会を十分に設け、市民とのディスカッションをしっかりとしていただきたい。失礼かとは思いますが、アリバイづくり的な説明会等の開催になってしまわないようお願いしたいと思います。</p> <p>時代は変わりました。行政も旧態依然の在り方から脱皮し意識改革が求められています。OBとして偉そうなことは言えませんが、退職して見えてきたものがあります。その点、ご理解を頂ければと思います。</p> <p>何れにしてもこの問題は、宮津市の将来を左右する大きな課題であります。釈迦に説法かもしれませんが、例えば、利用者が少ないから無くすという論点が主となる議論の展開は、地域の振興という点から正しいとは思えません。</p> <p>利用者が少ないと周辺地域の施設が矢面に立たされますが、それでいいのでしょうか。東京一極集中ではないですが、地域が疲弊すると市全体が疲弊します。</p> <p>機能分散ではないですが、それぞれの地域の特色を十分に生かす工夫が必要だと思います。地域の課題を身をもって認識しているのは、行政ではなく当事者である地域です。地域には様々な人材がいます。大規模災害の発生や今回のコロナ禍など今までとは人の意識、生活環境が変化していく中で、今まで以上にしっかりと地域に寄り添ってお互いが知恵を出し合い施策を検討、決定し協働して地域振興を推進していくことが求められると思います。</p> <p>繰り返しになりますが、50年後、100年後の宮津市の将来を見据え、市民としっかりと議論を行い取り組んでいただくことを願います。</p>
26	<p>市民のために宮津会館の継続の再検討をお願い致します。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
27	<p>以下の例などについて、市民の切実な意見をじっくり聴取してから対応願いたい。</p> <p>宮津市民の思いを聞き、このような公共施設の存続意義をもう少し時間をかけて、検討してもらいたいです。</p> <p>観光客や海水浴客が多く来る宮津市ですが、公衆便所をなくすことは、地域住民にとって どのような影響があるか、考えてほしいです。</p> <p>公衆便所がないと当然のことながら、近隣の畑などに侵入し、荒され、衛生面でも悪くなることは目に見えています。</p> <p>他、宮津市民にとって文化面で大切な役割を担ってきた施設や 健全な子育てに必要な施設の存続を再度検討してもらいたいです。</p> <p>①宮津会館の存続</p> <p>②由良もみじ公園、越浜、喜多駅の公衆便所の存続</p> <p>③上宮津保育園の存続。</p>
28	<p>日頃財政難における市の運営に御心血を注がれている事に敬意を表します。</p> <p>また有り難く思います。が!!</p> <p>宮津会館と郷土資料館の保持活用をお願い致します。</p> <p>宮津の現状に過ぎたるものとして、宮津会館、郷土資料館であります。このような時こそ宮津文化と歴史を次世代に伝えまもるために、宮津の歴史文化を守る気概としてここだけは踏ん張る時、場合ではないでしょうか。</p> <p>両方とも文化、歴史を伝達し学び発する場であります。文化、歴史が廃れる所に未来はないと思います。</p> <p>歴史文化が無くなった時は宮津市の財政が再建されても、誇りも持てない町になってしまうのではないのでしょうか、単なる橋立村になってしまう。</p> <p>宮津から離れていく次世代の子供たちに何も伝えることなく、誇りも歴史も知ることなく巣立つことを避けたいと思います。どうかこれだけは宮津の誇れるものとして残し維持してもらいたいです。</p> <p>関係者がうらやむ展示施設を5年あまりも閉鎖、この間特別開館されたことはあるが、閉鎖中の宮津郷土資料館、文化、歴史を次世代のこの町を巣立っていく子供たちにこれからこの町の歴史を知ろうとする人達、他地区より来られる人達にも掛け替えのない施設である。</p> <p>例えば少なくとも学校が休みになる、春、夏、冬休みに1週間とか宮津中の小、中、学校の生徒に来てもらう方法を考え、又、他地区の人が多く訪れたりする観光シーズンに、里帰りするお盆の時に開館できないだろうか、開館するために必要な人はボランティアを募ったらどうでしょうか、宮津にも多くの優秀なりタイヤ組の人材はいる、中には資格を有している方も居ると思います。</p> <p>すでに検討されたと思いますが、経費を少なく開く方法をもっと開館を前提に検討されたら、して欲しいです。宮津の歴史遺産は数多くあります。</p> <p>財政再建のため閉鎖を継続する事を前提にするのではなく、高い文化意識を持てるようにする手段として何とか維持、開館をお願いしたい。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
29	<p>以下の例などについて、市民の切実な意見をじっくり聴取してから対応願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①宮津会館の存続。 ②由良もみじ公園・越浜・喜多駅の公衆便所の存続。 ③上宮津保育園の存続。 ④日置の診療所の存続。
30	<p>広報みやづ6月号に掲載された公共施設再編方針書（案）に関し、市民の意見を聴頂く期間が僅か1ヶ月しかありません。公共施設は市民生活の根幹にかかわることで、「急いでは事を仕損じる」という諺があります。宮津市の財政状況が逼迫している状況を考慮した上で、少なくとも1年間は行政と市民が意見を交換して決定すべきと思慮します。</p> <p>1. 公共施設再編案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①作成の経緯。 ②行政と市民が少なくとも1年間かけて意見を交換した上で決定できないか。 ③今回のような大掛かりな公共施設再編を短期間で決めた他市町の事例。 ④宮津の歴史文化政策をどう考えているか。 ⑤平成27年9月議会に於いて、議会活性化委員会で「議決案件」に関する取り決めが整理され、本件は議会が取り上げない為、「市議会には9月定例会で報告」と市から説明があるが、市議会で審議すべき大切なことではないか。 <p>次ページに続く</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）意見募集（パブリックコメント）の意見等一覧

受付No.	意見等(全文)
30	<p>2. 宮津会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ①耐震工事に関する「補強が必要な場所」「10億円の根拠と妥当性」 ②音響施設やトイレなどの状況と改修費用。 ③オープン以来の主な催しの経歴。 ④稼動状況と収益性の状況。 ⑤約20百万円かけた空調設備の状況。 ⑥京都府や与謝野町・伊根町との共同施設へ移行して存続するなど存続する為の検討をしたことがあるか。 ⑦「宮津会館の代替を歴史の館で賄い、人数が多いイベントは体育館を使用する」と市から説明があるが、体育館には冷暖房設備がなく、音楽イベントでは音響環境が整わないことをどうするか。 <p>3. 歴史資料館（みやづ歴史の館4階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①再開できない理由。 ②再開の費用。 ③令和元年度に資料館再開に向けての予算を計上していたが、不執行となった理由。 ④ボランティアの活用など再開する手法の検討経緯。